

「の祭りやイベントなどを通じてお互い協力し合っていていくことが、商店街に新たな可能性が生まれる源泉なんだと思います。「人が来ないから店を出さない」という考えもあるようですが、私は「人を呼ぶために店を出したい」と考えています。何かの縁で店に来てくれた人が、次は知人と一緒に来店してくれる。このプラスの連鎖反応が、人の輪を広げ地域を活気づける第一歩だと思っています。」

加藤 私は、河川敷を散策する人が増えて、「きれいですね」と声をかけてくれるようになったことが大きな励みになっていきます。市のフェイスブックを見て県外から見



「狭山市入間川七夕まつり」で実現した「エルフェン」と「セコムラガッツ」のコラボレーション

に来た方もいらつしゃいました。花と入間川は狭山の大きな観光資源だと思えますよ。SNSなどを使って、世界にも狭山の魅力を伝えていってほしいですね。奈良 私やチームにとって「地域の存在」が、大きなモチベーションになります。試合では、狭山市の

狭山の魅力をつないでいく

ファンの声援が明らかにパワーに変わります。「狭山といえばエルフェン」と誰もが思っていただけに、勝利を重ね狭山を有名にして、狭山市の皆さんに恩返しをしたいですね。私にもファンの皆さんにも共通するのが「地域愛」ということでしょうか。

想で活動しています。

昨年「すかいロード祭り」で企画した「狭山茶コーラの一気飲み」は、祭りと同時に狭山茶のアピールにもなったと思います。このように、それぞれの活動と狭山の持つ魅力をコラボレーションすると、思いがけない発見があったり、予想以上の相乗効果が生まれたりすると思っています。皆さんから何かアドバイスできるものがありますか。

大畑 新狭山は新しい地区ですから、「今あるものは活かしていく。ないものは創っていく」という発

いう点では共通しているのですから、一緒に行くことで新たな狭山応援団を生むことができるんだと実感しました。

明日への一歩を踏み出すために

市長 皆さんが、こうして狭山市で生き生きと活動しているのは、人と人とのつながりがあり、そこに共通の夢や目標があるからなんだでしょうね。人のつながりが活



小谷野剛狭山市長

した。最後に、これからの狭山を担う輝く若者たちへのメッセージなどをいただきたいと思います。

加藤 夢を持ち続け、困難があつても乗り越えて継続しようとする心が大事だと思います。私は、入間川

の河川敷に100万本の「曼珠沙華」が咲く、今以上にきれいな河川敷を目指しています。そして、狭山市が花であふれるまちになることを望んでいます。

レビが取材して市民に発信すれば、さらに広く伝えられますしね。市長皆さんの活動は、どれも狭山市ならではのものです。提案されたような企画が実現すれば、狭山市がもっと楽しいまち、ワクワクするまちになると思います。でも、それは市にはできないことだし、皆さんならではの魅力的な活動なんですよ。市も活動をつなぐお手伝いをしたいと思います。

大畑 今の若者たちは、現状しか見えないかと思えますね。

市長 私は、とにかく若い人を巻き込んで、あれこれ意見を出し合い、達成感を一緒に味わいたいと思っています。

奈良 何事も行動することが大事なんだと思います。「継続は力なり」は本場で、努力し続けることは、夢を叶える大前提でもあります。私も自分の意志をしっかりと持って、サッカーも仕事も、まずは行動することにしていきます。狭山市には夢を持っている子ども達が多いと思います。その夢を決して諦めず、狭山市で叶えて大きく羽ばたいてほしいと思いますし、自分も活躍することでそれを伝えられたらと思います。



奈良美沙季選手

「努力し続けることは、夢を叶える大前提」

く方も多く参加してくれて、狭山の魅力を感じる機会になってくれたと思います。私たちの活動と、大畑さん、奈良さんの活動がコラボレーションしたら面白いですね。連携することはお互いの活動を刺激するから活性化しやすいように、活性化すれば自然と参加者も増えて、さらに刺激になります。ぜひ、市には、活動を結びつける役割をお願いしたいですね。